

## 資料3

### 昨年度までの工事と昨年度の市民談義所・委員会等

- はじめに 約2年半のコロナ禍における宮崎海岸事業の取組について 1
1. 実施中の工事と事業効果の例 2
2. 昨年度の市民談義所、委員会等について 12



## はじめに ～約2年半のコロナ禍における宮崎海岸事業の取組について～

皆様、国土交通省宮崎河川国道事務所海岸課です。平成20年から宮崎海岸事業にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

この2年半はコロナの感染防止を防ぐため、談義所等の皆様にお集まり頂く会議、イベントを全て中止とさせていただきます。そのような状況の中で、この2年半で、宮崎海岸事業で実施したことを説明させていただきます。

### 1. 養浜工事の実施

・毎年9月以降に養浜工事を実施し、宮崎海岸の砂浜復元に努めています。令和3年度までに約200万m<sup>3</sup>(うち、令和2年度:約20万m<sup>3</sup>, 令和3年度:約40万m<sup>3</sup>)の土砂を投入しました。

### 2. 宮崎海岸に係る測量、波浪調査や動植物調査の実施

・毎年、宮崎海岸の現状を把握するため、地形測量や波浪観測、動植物調査等を実施しています。特にアカウミガメ調査は非常に重要なものです。

### 3. 「宮崎海岸侵食対策検討委員会」や「効果検証分科会」の実施

・測量や波浪、動植物調査の結果を元に、年に1回、宮崎海岸の効果検証の会議を開催しています。詳細については、宮崎河川国道事務所のホームページに会議資料を掲載中です。

### 4. パンフレットやホームページの更新

・宮崎海岸事業の最新情報を皆様にご報告をするため、宮崎河川国道事務所(海岸事業)のホームページを随時、更新しています。また、平成26年度に作成した「宮崎海岸の侵食対策」のパンフレットを令和4年9月に子供向け用に一部更新しました。

### 5. 今後の予定

・新型コロナウイルス感染症拡大の低減が図られましたら、皆様と一緒に  
○市民談義所  
○参加・体験型談義(宮崎海岸サポーターズ)  
○工事を見ながら、宮崎海岸を一緒に歩こう！  
等を企画していきたいと思っております。

その際は、引き続き、宮崎海岸事業のご理解、ご協力をお願いします。

# 1. 実施中の工事と事業効果の例

---

(1) 事業の進捗状況

(2) 令和3年度工事の実施状況と今年度の予定

- ① 台風等による急激な侵食から背後地を守るための予防的・応急復旧的養浜
- ② 突堤既成部分を有効に活用して砂浜回復を図る川砂利・川砂養浜
- ③ 他事業と連携して効率的に養浜するためのサンドバイパス試験施工
- ④ 直近の工事予定

(3) 昨年度確認した事業効果の例

- ① アカウミガメの上陸・産卵状況

# (1) 事業の進捗状況

・養浜、突堤、埋設護岸を順次整備中(埋設護岸は完成)



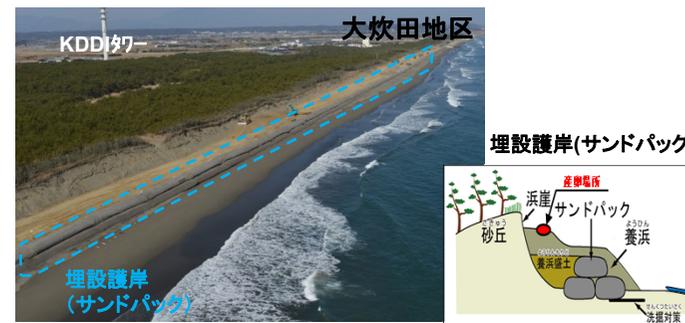
**ようひん 養浜** ①北から流入する土砂を増やす



**とつてい 突堤** ②南へ流出する土砂を減らす



**まいせつごがん 埋設護岸** ③浜崖顶部高の低下を防ぐ 全国初のサンドパック工法を採用



### <第42回宮崎海岸市民談義所(令和元年7月開催)資料より引用>

- ・**養浜**はⅠ期では砂丘頂部の低下抑制(急激な侵食防止)を主目的として実施し、**突堤・補助突堤**による南への流出抑制が機能してくるⅡ期・Ⅲ期では、砂浜回復・維持を主目的とする。
- ・**突堤・補助突堤**は急激に設置すると影響が大きいことから、「宮崎海岸ステップアップサイクル」に従い、養浜の実施状況や砂浜の回復状況等を確認しながら着実に整備を進めていく。
- ・**埋設護岸**は高波浪時の砂丘頂部の低下(急激な侵食)を抑制することが目的であるため、できるだけ早期に整備を行う。

整備内容	砂丘頂部の低下(急激な侵食防止)を抑制			期待する効果
	Ⅰ期 (H23~H29)	Ⅱ期 (H30~R04)	Ⅲ期 (R05~R09)	
養浜工 280万m <sup>3</sup>	砂浜回復・維持			砂浜の回復、維持
突堤の整備 L=300m	砂浜の安定			砂浜の安定
補助突堤の整備 L=150m, 50m				
埋設護岸の整備 L=2,700m	できるだけ早期に整備			浜崖頂部高の保持

できるだけ早期に整備

養浜の実施状況や砂浜の回復状況等を確認

## (2) 令和3年度工事の実施状況と今年度の予定

- 5 -

### ① 台風等による急激な侵食から背後地を守るための予防的・応急復旧的養浜

- 内 容 : 高波浪による急激な侵食から背後地を守るため、台風等の前や後に、サンドパック周り等の砂浜の侵食が顕著な箇所に、予防的・応急復旧的な養浜を実施する
- 令和3年度  
の実施状況: 大炊田、動物園東などに約40万m<sup>3</sup>の養浜を実施した  
(参考: 令和2年度約20万m<sup>3</sup>, 令和元年度約17万m<sup>3</sup>)
- 令和4年度 : 台風後等の巡視や測量等により異常箇所を速やかに確認し、予防  
の予定 や応急的措置を臨機に実施予定



大炊田の例: 2022(R4)年2月1日撮影 T.P.+0.64m

## (2) 令和3年度工事の実施状況と今年度の予定

### ② 突堤既成部分を有効に活用して砂浜回復を図る川砂利・川砂養浜

□ 内容 : 突堤既成部分を少しでも有効に活用し、完全に消滅してしまっていたコンクリート護岸区間の砂浜を少しでも早期に回復させるため、歩留まりが期待できる川砂利・川砂を用いた突堤周辺への直接的養浜を実施する

□ 令和3年度の実施状況 : 突堤区間に、約9万m<sup>3</sup>の川砂利・川砂養浜を実施。底質調査、測量等のモニタリングから想定どおり海岸線にとどまる傾向を確認  
(参考：令和2年度約6万m<sup>3</sup>，令和元年度約3万m<sup>3</sup>)

□ 令和4年度の予定 : 突堤区間に川砂利・川砂養浜を実施予定

#### ○ 投入材料の例



#### ○ 川砂利養浜の実施箇所



#### ○ 令和3年度投入後の様子

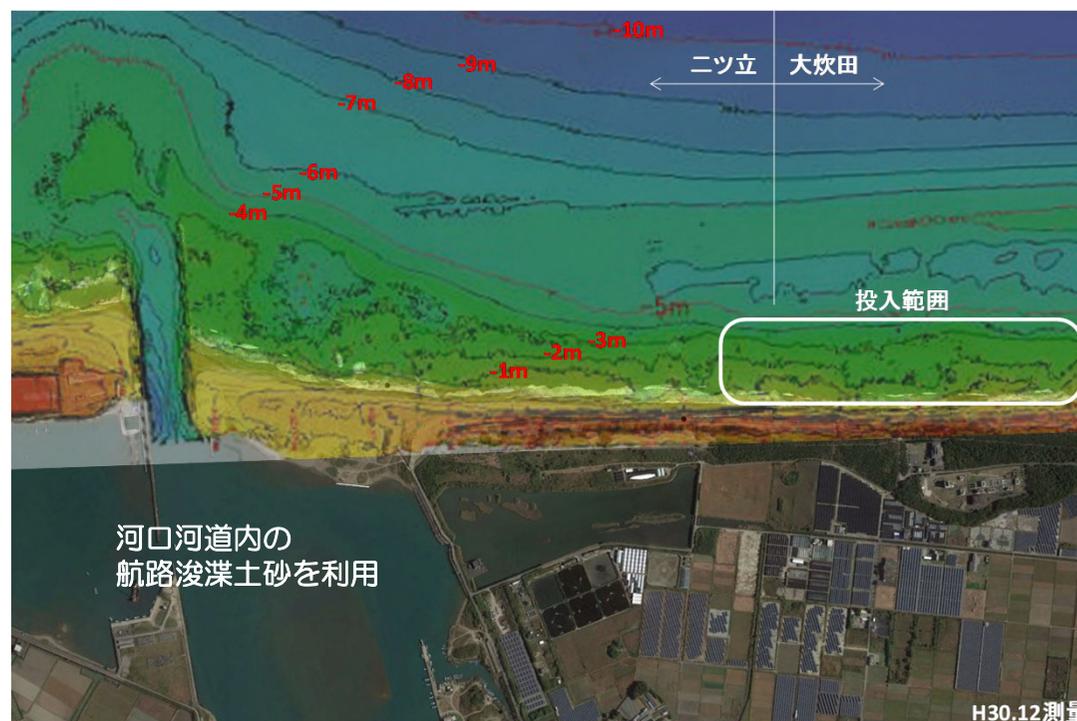


## (2) 令和2年度工事の実施状況と今年度の予定

- 7 -

### ③ 他事業と連携して効率的に養浜するためのサンドバイパス試験施工

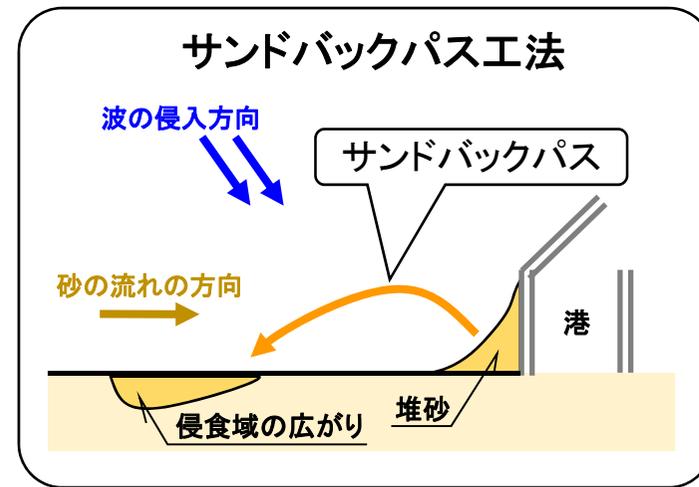
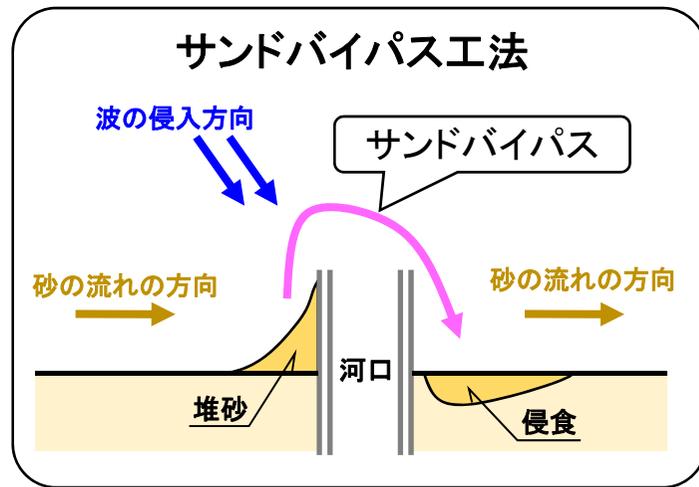
- 内 容 : 将来の維持養浜に向けた効率的・効果的な養浜手法に関し、有効な手法であるサンドバイパスの試験施工を関係機関と連携して実施する
- 令和3年度  
の実施状況 :
- ・ 一ツ瀬川河口付近の富田漁港等の浚渫土砂1.4万 $m^3$ のサンドバイパス（投入箇所：大炊田）を実施し、連携手法や課題を確認した  
（参考：令和2年度約0.4万 $m^3$ ，令和元年度約1.5万 $m^3$ ）
  - ・ 実施に先立ち、国・県・市の関係部局からなる「宮崎海岸情報共有会議」を設置。土砂調達のルールについて整理、共有するとともに、一ツ瀬川河口付近の浚渫や掘削予定から試験施工の調整を行った
- 令和4年度  
の予定 : 一ツ瀬川河口付近で0.4万 $m^3$ 程度を調整中



### 【サンドバイパス】

港等の構造物によりせき止められた土砂(漂砂)を、せき止められて侵食した土砂の流れの下手側に人為的に移動し、砂浜を復元する工法

なお、せき止められた土砂(漂砂)を、土砂の流れの上手側に人為的に戻し、砂浜を復元する工法をサンドバックパスと言う



### 宮崎海岸のイメージ



※このイメージ図は、サンドバイパス及びサンドバックパスの想定案を紹介したものです

## (2) 令和3年度工事の実施状況と今年度の予定

### ④直近の工事予定

対策工		計画量	R3年度まで 上段:施工量 下段:進捗率		R4年度	R5年度	R6年度
養浜	砂浜回復および 急激な侵食への対応	280万m <sup>3</sup>	185.8万m <sup>3</sup>	207.2万m <sup>3</sup> (74%)	実施予定	実施予定	実施予定
	早期の砂浜形成		18.1万m <sup>3</sup>		実施予定	実施予定	実施予定
	サンドバイパス		3.3万m <sup>3</sup>		実施予定	実施予定	実施予定
埋設 護岸	動物園東	1100m	1100m完成済み (100%)				
	大炊田	1600m	1600m完成済み (100%)				
突堤	突堤	300m	75m (25%)		実施しない 予定	状況によっ ては実施	状況によっ ては実施
	補助突堤①	150m	50m (33%)		実施しない 予定	状況によっ ては実施	状況によっ ては実施
	補助突堤②	50m	50m完成済み (100%)				

# (参考) 宮崎海岸侵食対策(埋設護岸, 川砂利・川砂養浜)の実施状況写真 - 10 -

令和3年10月と令和4年2月の写真を比較し、実施状況を紹介します



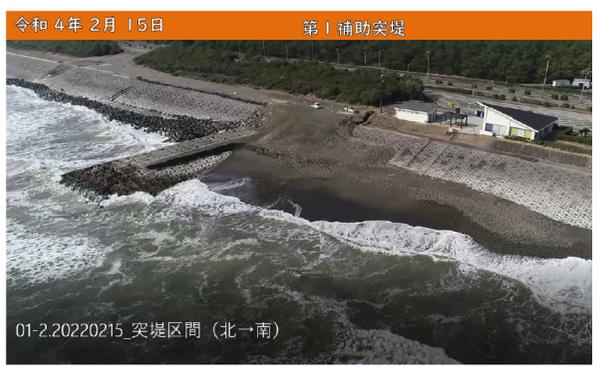
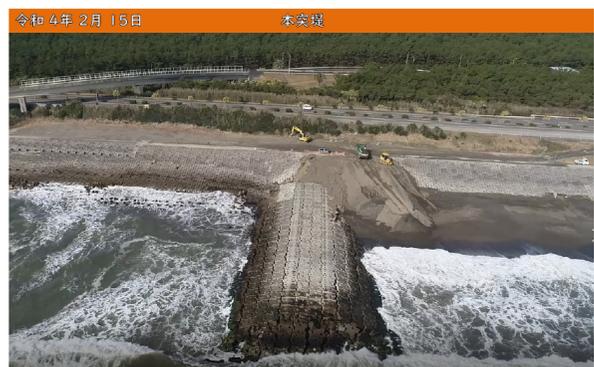
## 埋設護岸の機能維持

- ・ 高波浪にて流出した埋設護岸の覆土養浜を令和4年3月末までに、全区間にて復旧。(令和4年2月写真は、大炊田海岸の養浜施工中の状況です)
- ・ 令和4年度も、台風期以降に覆土養浜の復旧を行います



## 突堤群への川砂利・川砂養浜

- ・ 早期砂浜回復を図るため、歩留まり効果が期待される川砂利・川砂養浜を関係機関と連携し令和3年度も実施。令和4年度も継続します



# (3) 昨年度確認した事業の効果の例

## ①アカウミガメの上陸・産卵状況

- ・覆土養浜材には良質な砂を使う工夫や、陸側の締まった砂をほぐすなどの工夫を実施している。
- ・2022(R4)年にも、大炊田、動物園東で上陸・産卵を確認している。

### ○令和3年の上陸・産卵状況

動物園東地区 R3.6.29



大炊田地区 R3.7.19



動物園東地区 R4.6.14



### ○令和4年の上陸・産卵状況



大炊田地区 R4.6.16



## 2. 昨年度の市民談義所、委員会等について

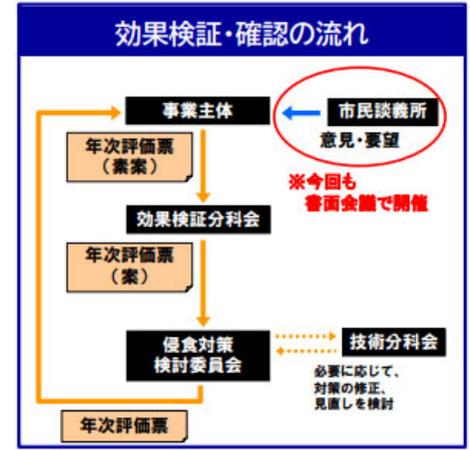
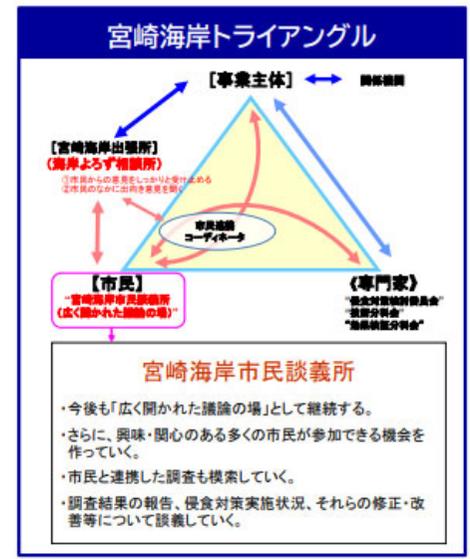


# 昨年度の市民談義所、委員会等での検討結果

宮崎海岸侵食対策検討委員会(第10回効果検証分科会・第20回委員会の報告) 令和3年12月  
 今年度の宮崎海岸侵食対策事業の効果検証結果について

国土交通省宮崎河川国道事務所・宮崎県

- ・国土交通省と宮崎県は、宮崎海岸(宮崎港北端～一ツ瀬川河口間)の侵食対策を、行政・市民・専門家が三者一体となって進めており(宮崎海岸トライアングル)、毎年調査を行い委員会等によりその効果を検証・確認しています(効果検証・確認の流れ)。
- ・市民の皆さんの意見を伺うために、今年も昨年と同様、希望される方に資料を送付し、Q&A形式のアンケートで意見を頂きました。
- ・お伺いした意見等については従来の市民連携コーディネータに集約してもらった後、その意見を反映した効果検証の評価票案を作成し、効果検証分科会および委員会に諮り、了承を得ましたので、その結果を報告します。



会議名	期間	内容等
第46回市民談義所	8月19日～9月1日	資料配布
	9月2日～13日	アンケート回収
第10回効果検証分科会	10月6日～7日	委員個別説明
第20回侵食対策検討委員会	10月18日～11月1日	書面開催

# 昨年度の市民談義所、委員会等での検討結果

## 宮崎海岸侵食対策検討委員会委員長のまとめ

- 8 -

各委員の意見を踏まえ、委員長に意見をまとめてもらいました。



委員長 村上啓介先生  
(宮崎大学 教授)

- 突堤の延伸に関しては、技術的意見の多くは、波浪外力に対する沿岸および沖合の地形変化の状況を踏まえ、計画どおり進めて砂浜の回復を図る方針を支持していると考えます。一方で、突堤を延伸することによって海面利用に支障が出るとの意見が依然としてあり、この点については最大公約数的な意見の集約を目指して引き続き丁寧に話し合ってもらいたい。
- 気候変動の影響を懸念する意見については、波浪外力等の経年変化の特性を注意深く監視することが重要と考えます。なお、現況の対策の効果・影響に関する分析結果等を踏まえ、気候変動の影響の検討を技術分科会に諮るべきとの意見はないが、影響の評価は視野に入れておく必要がある。
- 現段階では3つの対策を引き続き着実に実施するという年次評価は妥当と判断する。その中で、今後の養浜やサンドバイパス、流域を含めた総合土砂管理による砂浜管理について検討を深める必要がある。
- 継続的な効果検証結果を注視しながら提案された調査計画を確実に実施することが重要である。また、宮崎海岸トライアングルを踏まえた本事業に対する合意形成を着実に進めて頂きたい。

### ～最後に～

市民の皆さまのご意見を参考にし、とりまとめた3つの対策等の年次評価票(案)について、委員会としても了承されました。協力して頂いた皆さま、ありがとうございました。新型コロナウイルスの感染については予断を許さない状況ではありますが、今後も「宮崎海岸トライアングル」、「宮崎海岸ステップアップサイクル」の宮崎海岸事業の進め方をしっかりとやっていきます。皆さまのご協力をお願いします。  
 <宮崎海岸侵食対策事業 事務局>

本報告資料に関することや、海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら[国土交通省宮崎河川国道事務所宮崎海岸出張所]にご連絡下さい。  
 TEL:0985-69-3692/FAX:0985-62-7051 ※電話番号が変わりました！しばらくは旧電話番号 0985-62-7050 でも自動転送されます。  
 〒880-0211 宮崎市佐土原町 下田島 9515-6(旧 宮崎地方法務局 佐土原出張所)

※皆様から頂いたご意見を含め、報告内容の詳細は、会議資料、議事録などをホームページに掲載しておりますので、そちらも合わせてご覧ください。  
 (<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/documents/index.html>)

■参加・体験型談義(宮崎海岸サポーターズ)は、子どもから大人まで幅広い世代の市民が砂浜で楽しく体を動かし、宮崎海岸の利用や維持について談義を展開することを目的として開催するものです。

広報

- ・宮崎海岸沿岸(檣・住吉・佐土原地区)の小学校・自治会等に案内を送付し(約9,000枚)、取組みの広報を行いました。

**第2回宮崎海岸サポーターズ**  
**身近な海岸をもっと楽しもう!**  
 ~ 大炊田海岸で宝さがし ~

令和4年  
**9月10日(土)**  
**9時30分~12時15分**  
 (9時受付開始)

参加費: **無料**  
 定員: **50名**  
事前申し込み必要

★砂浜の小さな生きもの観察  
 ★海で宝さがしゲーム  
 ★タッチプール  
 ★ビーチクリーン  
 ★砂浜を守る取り組みの紹介

集合・解散場所: 佐土原総合支所駐車場 (〒880-0297 宮崎県佐土原町下田島20860番地)  
 会場: 大炊田海岸 (集合場所から15分程度)

お申し込み方法  
 申し込み受付開始: **8月8日(月)AM6:00~**  
 先着順 申し込み締切: **9月2日(金)**  
 ※定員になり次第、締め切りさせていただきます。  
 右記QRコードのお申込みフォームまたはFAX(裏面をご利用ください)・お電話でも受け付けております。  
 【申込み・お問合せ窓口】 <https://00m.in/L9VB>  
 宮崎海岸サポーターズ事務局 (西日本技術開発 業務部内)  
 TEL:092-781-2625 FAX:092-726-4880 (平日10:00~17:00)

主 催: 宮崎海岸市民談義所 事務局 (国土交通省 宮崎河川国道事務所・宮崎県) 裏面もご覧ください  
 共 催: なぎさ・保安林に親しむ会 (海岸協力団体)

市民参画による企画

- ・宮崎海岸で活動されている市民サポーターの方々と協働で企画を行いました。



市民サポーターの皆さん
なぎさ・保安林に親しむ会
広瀬西小学校区地域づくり推進委員会
住吉海岸を守る会
松木水産有限会社
山西水産株式会社
佐土原地区の有志

主な企画メニュー
砂浜で遊ぼう!
砂浜の宝さがし
砂浜を知ろう!
小さな生きもの調査
砂浜を守ろう!
ビーチクリーン

参加募集

- ・募集開始直後から多くの参加申込み(計81名)がありました。
- ・子どもから大人まで幅広い世代の関心が高いことが伺えました。
- ・地区別では佐土原エリアが7割以上で、地元の関心が高いことが伺えました。

※令和4年9月10日開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、中止となりました。

参加希望者の年齢構成  
 合計81名

